

多摩区役所、SDGs 推進に向けて 家庭から出る使用済み割り箸の回収を開始します！

多摩区役所では、地域の皆様が身近な行動から持続可能な社会づくりに参加できるよう、ChopValue Manufacturing Japan 株式会社(以下、ChopValue Japan)と連携し、家庭から出る使用済み割り箸を回収する新たな取組を4月21日(火)から開始します。

多摩区総合庁舎に、使用済み割り箸の回収ボックスを設置し、割り箸が再利用可能な「資源」であることを知っていただくとともに、令和8年6月以降、ChopValue Japan が区内小学校で SDGs 教育の普及啓発を目的とした出前授業を行います。

なお、公共施設での回収ボックスの設置や家庭からの持ち込みによる回収は ChopValue Japan として初めての取組になります。

今回の取組は、区民の意識啓発を図り、地域の皆様とともに SDGs 推進・地域教育・資源循環の達成をめざす身近な実証モデルとして実施するものです。

4月15日(水)には、ChopValue Japan
代表 山上 剛史氏と多摩区長による
懇談会を行いました。



連携する取組

1 使用済み割り箸回収ボックスの設置

割り箸の材質(アスペン/竹)に応じた2種類の回収ボックスを多摩区総合庁舎1階アトリウムに設置し、回収状況や分別状況などを確認する実証実験を行います。

2 再資源化されたテーブル及びパネルの展示

回収した割り箸は板材に再生され、テーブルなどに再利用されます。実際に、再資源化した ChopValue Japan 製のテーブルを同じく1階広報コーナーの配架台として利用するとともに、回収の意義や SDGs の取組を紹介するパネルを展示し、来庁者が視覚的にも分かりやすい広報を行います。



設置する回収ボックスやテーブル

3 区内小学校での「多摩区 SDGs地域連携推進事業」(出前授業)の実施

多摩区役所が区にゆかりのある企業や大学と連携して取り組んでいる区内小学校での多摩区 SDGs 地域連携推進事業(出前授業)に ChopValue Japan が新たに参加し、子どもたちの SDGs 教育の支援を行います。

実施期間

・取組1及び2

令和8年4月21日(火)～令和9年3月31日(水)

・取組3

令和8年6月～令和9年1月(令和8年4月以降、区内小学校のうち希望校を調査し、決定します。)

ChopValue Manufacturing Japan 株式会社について

「お箸でつなぐ、循環の未来」と掲げ、2016年にカナダ・バンクーバーで創業し、令和7年4月に川崎市中原区上小田中に国内初の工場を開所しました。地域の飲食店やスポーツイベントにおいて、使用済み割り箸の回収を実施し、テーブルや椅子などに再資源化(アップサイクル)の取組に力を入れています。

〈 会社概要 〉

- ・工場所在地 川崎市中原区上小田中2丁目5番40号
- ・代表取締役 山上 剛史
- ・公式HP <https://chopvalue.jp/>



同社HP

問合せ先

川崎市多摩区役所まちづくり推進部企画課 佐藤

電話 044-935-3144 (内線:66120)

※ ChopValue Manufacturing Japan の会社概要等
に関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

ChopValue Manufacturing Japan 株式会社

事業開発担当 保坂

メールアドレス community@chopvalue.jp